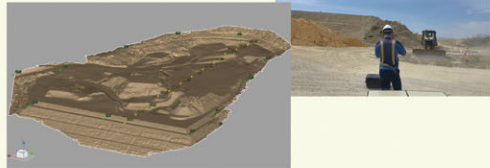


2021 ▶ 2025

広島県 道路整備計画 2021取組状況

広島県では、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とした「広島県道路整備計画2021」に基づき6つの施策を展開し、これらに寄与する事業を計画的に実施するとともに、効果を高める取り組みとしてデジタル技術の活用を推進しています。

3D測量を用いた 現場管理



路面性状調査 システムの 実装実験状況



除雪作業支援 システムの 実装実験状況



① 県土強靱化のための 道路ネットワーク強化

【バイパス整備】国道375号 引宇根工区
(三次市) ※部分完成



【法面对策】国道191号 坪野工区
(山県郡安芸太田町)



② 安全で快適な道路空間 の形成

【歩道整備】(主) 大崎上島循環線 大田工区
(豊田郡大崎上島町)



【自転車利用環境の整備】(主) 福山幹線
沖野上工区 (福山市)



③ 物流生産性向上のための 道路ネットワークの構築

【IC立体化(国直轄)】東広島呉自動車道
阿賀IC立体化(呉市)



【バイパス整備(国直轄)】国道2号東広島BP
(広島市・安芸郡海田町)



DX デジタル技術の活用 (効果を高める取組)

【バイパス整備】国道317号 青影BP(尾道市)
※部分完成



【バイパス整備+現道拡幅】(主) 府中世羅三和線
論田工区 (世羅郡世羅町)



【バイパス整備】国道314号東城BP(庄原市)
※部分完成



【現道拡幅】(一) 小島荒谷線 猿ヶ馬場工区
(神石郡神石高原町)



【橋梁補修】(主) 三次美土里線 深渡大橋
(安芸高田市)



【トンネル補修】(主) 本郷大和線
善入寺トンネル(三原市)



④ 地域内外の交通連携を支える 道路ネットワークの構築

⑤ コンパクトで持続可能な まちづくりに資する道路整備

⑥ 道路施設の適正な維持 管理